



しらみず

いわき市立白水小学校
学校便り 第12号
平成31年2月1日
発行者 校長 遠藤隆宏

本校ならではの風邪予防 朝は一杯のお茶から・・・

3学期が始まって1か月。雨はほとんど降らずに低温・乾燥が続いています。いわき市内でもインフルエンザが大流行しているようで、学級閉鎖や臨時休校の話も耳にします。

本校では、小規模校ならではの風邪予防対策をしています。それが「朝茶」です。

子ども達は登校後に着替えをしてなわとび練習に取り組みます。冷たい空気の中を歩いて登校し、なわとび練習をして呼吸が激しくなる。喉には乾燥した空気をたくさん吸い込んで、風邪のばい菌などもついているかも知れません。

この後、校長室に集まって、1杯のお茶を飲んでいきます。ご存知のようにお茶に含まれているカテキンは風邪予防に効果があると言われています。自分で粉茶を茶碗に入れて、熱いお茶をふーふー冷ましてながら飲んでいきます。お茶を飲みながら、10分間の読書をしています。



もちろん、手洗いやうがいの励行、睡眠時間の確保、運動を継続して体力をつけることなどにも取り組んでいます。毎朝、熱々のお茶を飲む学校は他にはないのではないかと考えています。

今日現在で欠席ゼロの記録は79日となりました。1月が行ってしまい、2月は逃げていく、3月は去っていくと言われるほど、あっという間の3学期です。1日1日を大切にしていきたいと思っています。

保護者の皆様。常日頃から子どもの健康管理に努めていただき、本年度は欠席も少なく学校生活を送ることができています。しかし、インフルエンザは伝染する病気ですから、万が一罹患した場合は、早急に医師の診察を受け、学校までご連絡ください。

一足早く 鬼退治！！



2月1日。暦の関係で一足早く節分の豆まきを行いました。

子ども達の生活を見ていると、慣れと気のゆるみからか、今まできちんとやっていたことにだんだんと手を抜いてきちんとやらなくなっているような面も見られます。

「姿勢を正しくする」「文字をていねいに書く」「最後まではっきりと話す」「話す人を見てしっかりと聞く」そうした当たり前の生活習慣の崩れを、この際「鬼のせい」にして追い出しました。



今日、豆をたくさんまいたから、忘れん坊鬼はいなくなりました。

あきらめ鬼を追い出して、失敗しても何回もチャレンジできるようになります。

たくさん豆をまきました。さぼり鬼を追い出して、一生懸命に取り組めるようになります。

いわき市造形展・書写展 がんばった子どもたちに拍手

1月13日、14日に書写展、19日、20日に造形展がいわき駅前のラトブで開催されました。児童数が多い他の学校では選ばれた子どもの作品のみが展示されるのですが、本校は3名の全児童の作品が展示されました。

審査の結果は以下の通りです。

- 【書写展】 金賞 6年 高木 啓大
- 銀賞 6年 長谷川 權 4年 長谷川 蒼史
- 【造形展】 特選 6年 高木 啓大 6年 長谷川 權
- 4年 長谷川 蒼史

造形展での全校児童が特選というのは、市内唯一の快挙です。



1月の教育活動より

ホームページでも情報を発信しています。携帯電話からでも見ることができます。下のバーコードを読み取ると、本校のホームページにつながります。



1月10日(木) 山野先生の書き初め教室

新たな年に書き初めをして、文字をていねいに集中して書くこと。ちょっと文字が雑になる傾向がある本校の子どもたちにとってはとても大切な学習です。

止め、はね、はらいや文字の大きさ、バランス、細かな点まで注意して何度も何度も書き直しをしながら、ようやく書き初めの作品が完成しました。山野先生には長年に渡り、本校児童のためにご指導をいただきました。ありがとうございました。

1月16日(水) 体育スーパーアドバイザー 柴崎先生来校

いわき教育事務所から体育指導のスペシャリストの柴崎先生が来て、子どもたちに体育のご指導をしていただきました。本年度になってから何度もご指導していただいているので、子どもたちはすっかりと慣れ親しんで、楽しく運動に取り組んでいました。

この日は走り高跳びについてご指導をいただきました。



1月18日(金) ALT カイリーン先生来校

ALTの先生は月に1、2度来て、英語を教えてくださいます。本校では、6年生は1日に2時間、4年生が1時間、ALTの先生と交流をしながら英語を学んでいます。小学生の英語は「聞いて話す」ことが中心です。ですから、聞いた通りに話すことで、よりネイティブに近い発音ができるようになります。

4年生で児童が話している英語を聞いて、とてもきれいな発音だったので、ちょっと驚かされました。

1月23日(水) 箱崎さんの読み聞かせ

箱崎ご夫妻にお出でいただき、本の読み聞かせをしていただきました。

この日は地域に伝わる「民話」を3冊、聞かせていただきました。そのうち2冊は内郷にまつわるお話で、阿弥陀堂近くの柳間の沼に住む大蛇のお話と、綴町好間作にある「笑い堂」のお話でした。

阿弥陀堂のお話に出てくる柳の大木は、写真も残っていて、本当にあったように思われるちょっと怖いお話でした。



1月29日(火) 学校給食の日 お箸で豆つかみ大会

戦後の食べ物が十分になかった時代に学校給食が始まったことを記念して、1月24日からの1週間を「学校給食週間」と定めています。

この日は、正しい箸の使い方を身に付けるために、お箸で豆つかみ大会を実施しました。ころころとすべって転がる大豆を箸でつまむのはなかなかたいへんでした。子ども達は1分間で10個ぐらいの記録。豆まきの前に、ご自宅でも競争してみてくださいはいかがでしょうか。

「いわきはまっこ新聞」の配付について

白水小学校が学校自慢として特集されている「いわきはまっこ新聞」1月29日号を本日配付いたしました。白水小学校の教育活動等がよくまとめられていますので、各家庭でご覧いただければと思います。

FCT「ゴジレchu!」の放送について

1月31日に福島中央テレビ「ゴジレchu!」で白水小学校の閉校に関わる内容が放送されました。1月10日放送予定でしたが延期となり、ご迷惑をおかけしました。

白水小学校の閉校が炭鉱衰退と地域の過疎化という大きな問題の象徴のひとつとして放送されたように感じました。今後、閉校後の校舎の後利用等の話も進んでくることかと思えます。白水小学校という形はなくなりますが、記憶はいつまでも残ります。閉校まであと2か月となりました。白水小学校にとってよい閉じ方ができるよう、残された期間、精一杯取り組んでまいりますので、よろしく願いいたします。